

新潟米マンスリーレポート

(令和8年9月号)

《今月の特集》

農林水産省 令和9年度予算の概算要求について

農林水産省は本年8月に令和9年度予算の概算要求を公表しました。

令和9年度から見直すとしている水田政策に関連する事業の要求額については、事項要求として、予算額は示されませんでした。内容は、これまで示されていた方針どおり、**非主食用米・業務用米の生産性向上の取組に対し、収量に応じた面積払いにより支援**することが中心となっております。

今後、段階的に詳細な制度内容が国から示されると考えられるので、本誌でも、随時お知らせしてまいります。生産者や集荷業者の皆様におかれましては、支援の内容に注視しながら、令和9年産の作付けや集荷の検討を始めましょう。

コメの生産性向上支援

令和9年度予算概算要求額 事項要求（前年度－）

＜対策のポイント＞

農業者の急減に対応しながら、多様なニーズ・用途の米を、将来にわたり国民へ安定供給するため、担い手への農地集約や農地基盤整備とともに、単収向上や省力化生産、気候変動対応などの生産性向上を行っていく環境を整備することが重要です。

このため、以下の対策を講じます。

- ① 主食用米以外のコメ（加工用米、米粉用米、新市場開拓用米等）について、生産性向上の取組に対し、収量に応じた面積払いにより支援します。
- ② 業務用米などについて、外国産米との価格競争力強化に向け、当面、より大きく生産性向上にチャレンジする取組に対し、収量に応じた面積払いにより支援します。

＜事業の内容・イメージ＞

主食用米
(業務用米)

主食用以外のコメ

加工用米、米粉用米、
新市場開拓用米等

①生産性向上の取組への支援

②より大きく生産性向上にチャレンジする取組への支援

①支援対象：生産性向上の取組（効率的施肥、高温耐性品種等）

②支援対象：より大きく生産性向上にチャレンジする取組

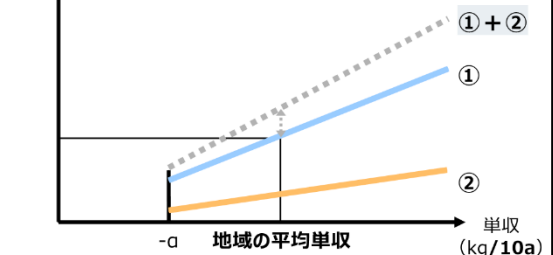
（直播、再生二期作等）

※実需者等との事前契約が要件

※支援単価は、コメの用途によらず一律とし、農業者の努力が報われるものとなるよう設定
ただし、米粉用米、飼料用米については、別途支援を実施

支援単価
(万円/10a)

収量に応じた面積払い



※ 単収向上に関しては、作柄表示地帯別の単収をその基準とすることを基本とし、地域差に配慮した形とするともに、災害等のやむを得ない事情による単収減についても配慮するなど、地域の実情にあった形での支援を検討します。
なお、地域の平均単収を一定以上下回る場合は支援は行いません。

○ このほか、酒造好適米の安定供給に向けた取組を支援します。

【お問い合わせ先】 農産局企画課 (03-3597-0191) 2

農林水産省「令和9年度農林水産予算概算要求の概要」から抜粋（赤下線、赤点線囲みは県で加筆）

・詳細は国のホームページをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/budget/r9yokyu.html>

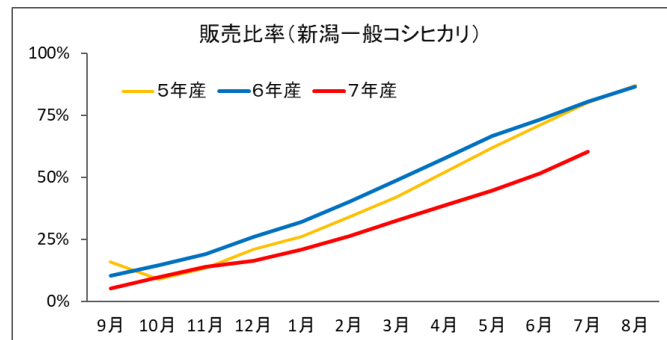
新潟米の販売・在庫等の状況

販売状況

○ 販売比率(販売数量/集荷数量)

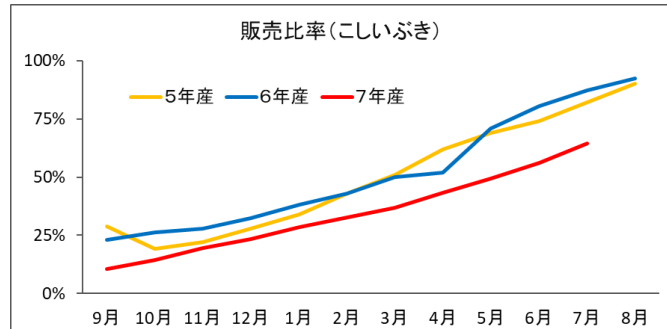
(1) 一般コシヒカリ

7月末現在の7年産一般コシヒカリの販売比率は60%で、6年産比21ポイント減、5年産比20ポイント減となっている。



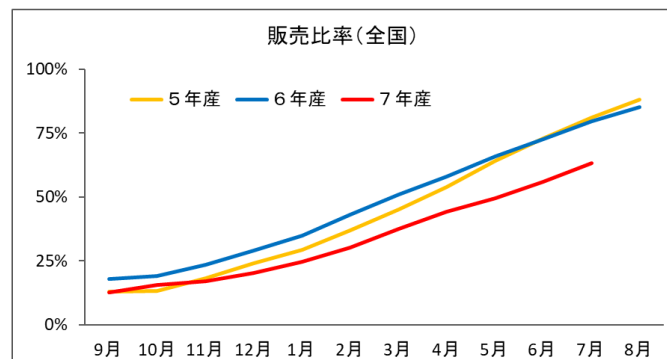
(2) こしいぶき

7月末現在の7年産こしいぶきの販売比率は65%で、6年産比22ポイント減、5年産比17ポイント減となっている



<参考>全国

7月末現在の7年産全国の販売比率は63%で、6年産比17ポイント減、5年産比18ポイント減となっている。



【販売比率の推移】

産地・年産		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般コシヒカリ	5年産	16%	9%	13%	21%	26%	34%	42%	52%	62%	71%	80%	87%
	6年産	10%	14%	19%	26%	32%	40%	49%	58%	67%	73%	81%	87%
	7年産	5%	10%	14%	16%	21%	26%	32%	39%	45%	52%	60%	
魚沼コシヒカリ	5年産	10%	18%	20%	33%	39%	44%	55%	65%	71%	80%	88%	96%
	6年産	16%	20%	26%	36%	43%	48%	56%	64%	73%	76%	82%	89%
	7年産	12%	19%	21%	27%	32%	37%	44%	50%	55%	60%	73%	
佐渡コシヒカリ	5年産	5%	15%	20%	26%	33%	39%	48%	56%	64%	75%	81%	87%
	6年産	13%	17%	19%	27%	32%	37%	43%	48%	54%	61%	69%	77%
	7年産	4%	10%	15%	20%	23%	28%	34%	43%	49%	54%	59%	
岩船コシヒカリ	5年産	10%	13%	20%	28%	35%	43%	52%	63%	74%	82%	90%	95%
	6年産	13%	14%	19%	26%	35%	40%	47%	56%	64%	71%	80%	85%
	7年産	6%	13%	12%	14%	17%	24%	34%	43%	48%	54%	62%	
こしいぶき	5年産	29%	19%	22%	28%	34%	43%	51%	62%	69%	74%	82%	90%
	6年産	23%	26%	28%	32%	38%	43%	50%	52%	71%	81%	87%	93%
	7年産	10%	14%	20%	23%	29%	33%	37%	43%	49%	56%	65%	
全国	5年産	13%	13%	18%	24%	29%	37%	45%	54%	64%	73%	81%	88%
	6年産	18%	19%	23%	29%	35%	43%	51%	58%	66%	73%	80%	85%
	7年産	13%	15%	17%	20%	25%	30%	38%	44%	49%	56%	63%	

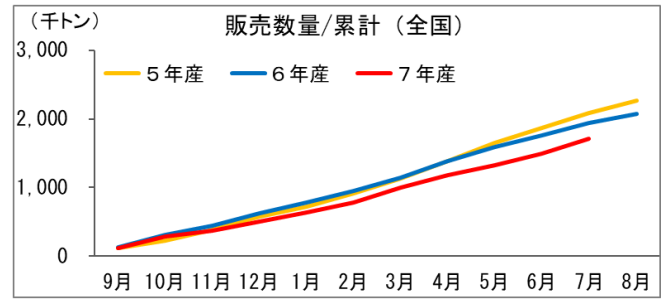
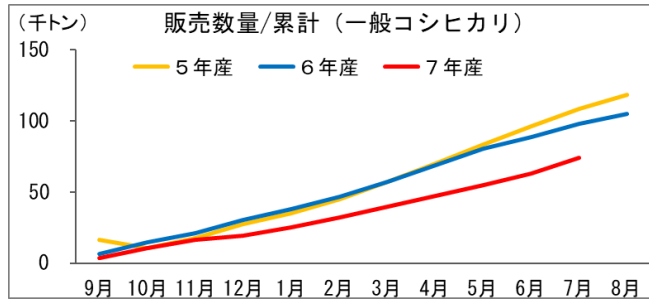
農林水産省 産地別契約・販売状況(速報)から抜粋

注1 報告対象業者は全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体(年間の仕入数量が5,000トン以上)、出荷業者(年間の直接販売数量が5,000トン以上)

注2 報告対象米穀は水稻うるちもみ及び水稻うるち玄米(醸造用玄米含む)

注3 各年産の9月から12月は、販売比率未公表のため、直近月の集荷量で除して算出

○ 販売数量



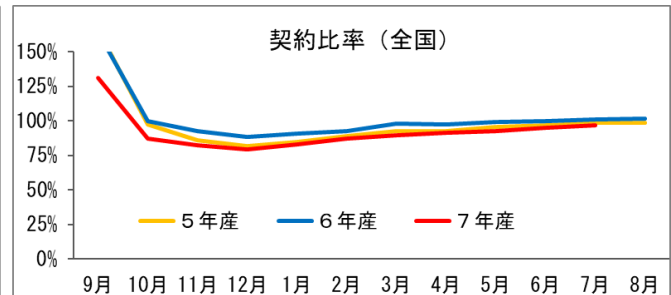
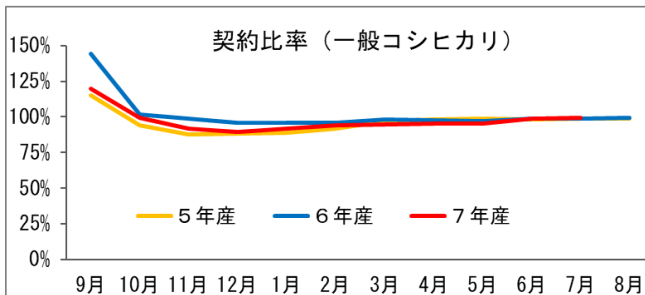
【販売数量(累計)の推移】

(単位：千玄米トン)

産地・年産		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般コシヒカリ	5年産	16.5	10.8	17.6	27.7	35.2	45.3	57.1	70.1	83.7	96.6	108.6	118.5
	6年産	6.6	14.8	21.2	30.3	38.0	47.0	57.6	69.2	80.4	88.9	97.9	105.3
	7年産	3.7	10.5	16.6	19.7	25.4	32.1	39.6	47.3	54.7	63.4	74.4	
魚沼コシヒカリ	5年産	1.4	4.4	5.3	8.7	10.2	13.8	17.1	20.4	23.0	26.1	28.9	31.6
	6年産	2.1	5.9	8.1	11.0	13.1	14.9	17.3	19.7	21.8	23.8	25.9	28.0
	7年産	1.6	5.1	6.4	8.2	9.4	10.8	12.9	14.8	16.3	17.7	21.8	
佐渡コシヒカリ	5年産	0.3	1.5	2.4	3.2	4.1	4.8	6.0	7.0	8.1	9.6	10.4	11.1
	6年産	0.4	1.6	2.2	3.2	3.8	4.4	5.1	5.8	6.6	7.4	8.4	9.4
	7年産	0.2	1.0	1.9	2.5	2.9	3.6	4.3	5.5	6.3	6.9	7.6	
岩船コシヒカリ	5年産	0.4	1.3	2.0	2.8	3.5	4.3	5.2	7.0	8.3	9.5	10.5	11.0
	6年産	0.3	1.4	2.0	2.8	3.7	4.2	5.0	5.9	6.8	7.6	8.6	9.2
	7年産	0.2	1.5	1.4	1.7	2.0	2.8	4.0	5.1	5.7	6.3	7.4	
こしいぶき	5年産		5.5	7.3	9.4	11.6	15.1	18.3	22.2	24.7	26.8	29.8	32.7
	6年産	4.8	7.3	9.0	10.7	12.7	14.4	16.9	24.9	34.0	38.8	42.0	44.6
	7年産	3.7	6.1	9.3	11.5	14.0	16.1	18.2	21.3	24.4	27.9	31.9	
全国	5年産	122	233	384	573	719	912	1,132	1,381	1,647	1,870	2,082	2,266
	6年産	137	307	450	626	778	957	1,150	1,391	1,594	1,765	1,940	2,074
	7年産	119	287	375	504	633	786	1,001	1,181	1,322	1,500	1,706	

資料 農林水産省 米の産地別契約・販売状況(速報)から抜粋

○ 契約比率(契約数量/集荷数量)



【契約比率の推移】

		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般コシヒカリ	5年産	115%	94%	88%	88%	89%	92%	97%	98%	99%	98%	99%	99%
	6年産	145%	101%	99%	96%	96%	96%	98%	98%	97%	99%	99%	99%
	7年産	120%	99%	92%	89%	92%	94%	94%	95%	96%	99%	100%	
魚沼コシヒカリ	5年産	111%	74%	73%	80%	81%	87%	90%	94%	93%	95%	97%	99%
	6年産	135%	76%	77%	80%	83%	84%	87%	90%	91%	93%	95%	97%
	7年産	107%	76%	73%	75%	77%	79%	82%	84%	87%	88%	95%	
佐渡コシヒカリ	5年産	212%	126%	104%	104%	101%	102%	102%	103%	102%	103%	102%	103%
	6年産	381%	130%	107%	107%	106%	99%	100%	98%	98%	99%	100%	100%
	7年産	221%	116%	92%	91%	94%	92%	94%	95%	94%	100%	100%	
岩船コシヒカリ	5年産	248%	98%	100%	100%	101%	102%	103%	102%	102%	100%	100%	100%
	6年産	448%	107%	106%	107%	106%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	7年産	286%	98%	96%	96%	98%	97%	97%	97%	97%	100%	100%	
こしいぶき	5年産	106%	92%	80%	81%	83%	92%	95%	95%	97%	97%	99%	100%
	6年産	78%	70%	65%	67%	67%	97%	135%	98%	99%	99%	99%	100%
	7年産	90%	93%	84%	81%	90%	94%	95%	96%	96%	99%	99%	
全国	5年産	166%	97%	86%	82%	85%	89%	93%	93%	96%	97%	99%	99%
	6年産	165%	100%	93%	88%	91%	93%	98%	98%	99%	100%	101%	102%
	7年産	131%	87%	82%	79%	83%	87%	90%	91%	93%	95%	97%	

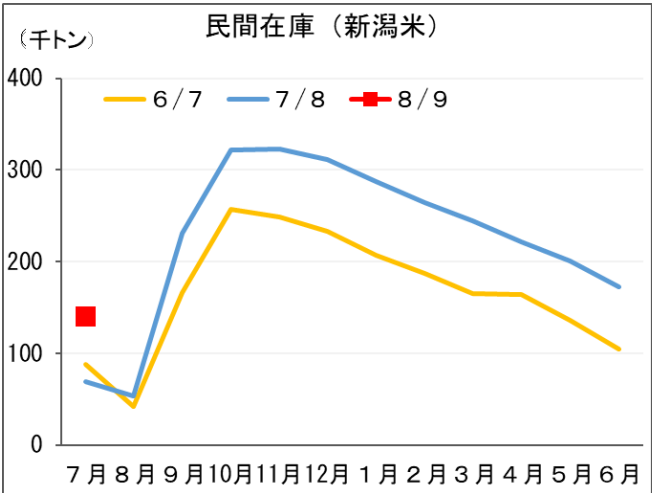
資料 農林水産省 米の産地別契約・販売状況(速報)から抜粋

(各年産の9月から12月は契約比率未公表のため、直近月の集荷量で除して算出)

在庫状況

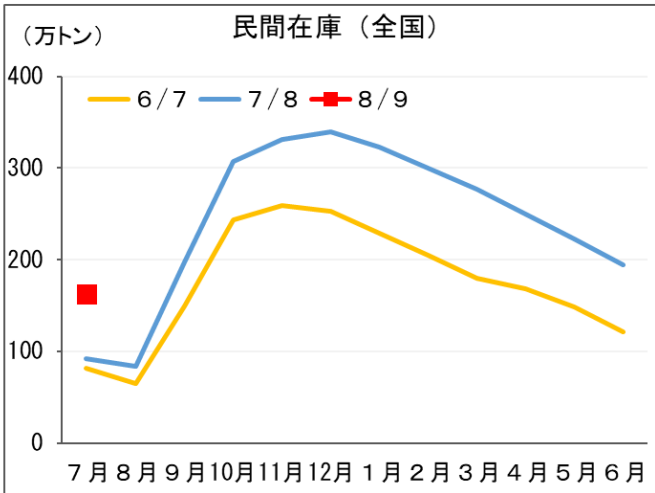
(1)新潟米

7月末現在の新潟米の民間在庫(うるち米)は、前年同月から66千トン増、前々年同月から72千トン増の141千トンとなった。



(2)全国

7月末現在の全国の民間在庫(うるち米)は、前年同月から70万トン増、前々年同月から80万トン増の162万トンとなった。



【民間在庫量の推移】

(単位：新潟は千玄米トン、全国は万玄米トン)

		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
新潟米	6/7	69	42	167	257	249	233	207	187	166	165	136	105
	6年産米		1	138	234	231	220	197	179	158	148	117	92
	1年古米(5年産)	63	37	25	20	16	12	9	8	7	16	19	13
	7/8	75	53	231	322	323	311	287	265	244	222	201	172
	7年産米		1	195	292	298	292	271	251	233	212	193	166
	1年古米(6年産)	69	49	35	29	24	19	16	13	11	9	8	6
	8/9	141											
全国	6/7	82	65	149	244	259	253	229	205	180	168	148	121
	6年産米	13	112	213	234	234	215	193	170	155	128	106	105
	1年古米(5年産)	47	31	23	18	11	7	5	4	9	15	11	5
	7/8	92	84	198	307	331	340	323	300	277	250	223	194
	7年産米	16	146	262	292	309	297	278	257	233	208	182	106
	1年古米(6年産)	63	44	36	30	22	17	15	12	10	8	7	11
	8/9	162											
	8年産米	0											
	1年古米(7年産)	152											

農林水産省 民間在庫の推移(速報)から抜粋

注1 出荷段階及び販売段階の水稻うるちもみ及び水稻うるち玄米(醸造用玄米含む。)の月末在庫量(玄米換算)の値。

注2 出荷段階は全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体(年間玄米仕入数量が5,000トン以上)、出荷業者(年間の玄米仕入数量が500トン以上)

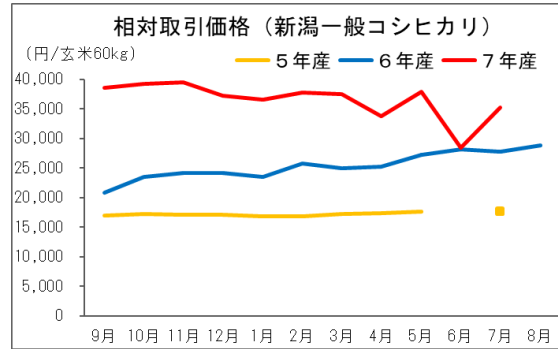
注3 販売段階は、米穀の販売事業を行う者(年間の玄米仕入量が4,000トン以上)

注4 令和7年3月以降には、売り渡した政府備蓄米(入札及び随意契約による売渡し分)の数量を含む

相対取引価格

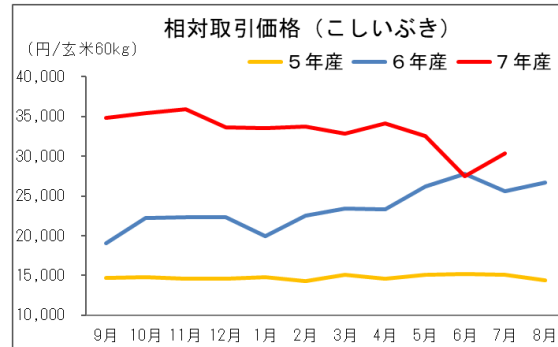
(1)一般コシヒカリ

7月の一般コシヒカリの相対取引価格(1等)は、35,181円(玄米60kg、税込)となった。
(前月差+6,807円、前年同月差+7,376円)



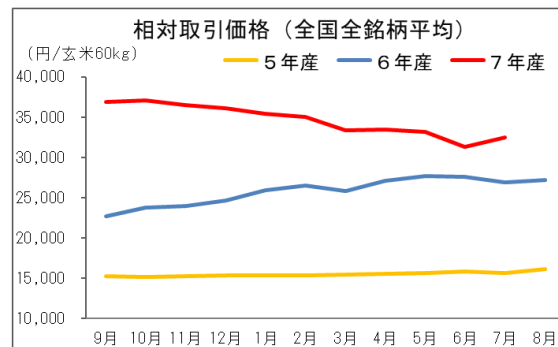
(2)こしいぶき

7月のこしいぶきの相対取引価格(1等)は、30,357円(玄米60kg、税込)となった。
(前月差+2,817円、前年同月差+4,711円)



<参考>全国

7月の全国全銘柄平均の相対取引価格(1等)は、32,486円(玄米60kg、税込)となった。
(前月差+1,181円、前年同月差+5,568円)



【相対取引価格の推移】

		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般 コシヒカリ	5年産	16,983	17,208	17,145	17,145	16,904	16,813	17,197	17,389	17,578	-	17,597	-
	6年産	20,858	23,487	24,147	24,147	23,471	25,786	24,969	25,290	27,207	28,129	27,805	28,873
	7年産	38,613	39,280	39,476	37,295	36,589	37,744	37,480	33,807	37,850	28,374	35,181	-
魚沼 コシヒカリ	5年産	20,929	20,851	20,831	20,831	20,937	20,583	20,606	20,762	20,634	20,706	20,705	20,867
	6年産	24,263	25,505	26,103	26,103	26,478	26,446	28,912	32,738	27,393	27,763	27,655	24,191
	7年産	42,257	42,049	43,098	41,789	40,117	42,875	42,832	42,639	41,345	33,920	41,016	-
佐渡 コシヒカリ	5年産	17,337	17,507	17,237	17,237	17,309	17,350	17,889	-	-	17,902	-	-
	6年産	21,316	24,119	-	-	-	24,715	38,965	27,602	44,585	45,490	-	-
	7年産	39,568	40,021	39,277	37,173	36,694	-	39,910	38,600	-	24,376	-	-
岩船 コシヒカリ	5年産	17,114	17,432	17,388	17,388	17,279	17,338	17,426	-	-	-	-	-
	6年産	21,134	24,311	-	-	-	24,922	26,169	26,216	26,574	26,708	29,077	-
	7年産	39,173	39,056	40,893	37,534	36,412	-	40,236	-	-	26,038	37,245	-
こしいぶき	5年産	14,696	14,771	14,556	14,556	14,810	14,256	15,123	14,578	15,116	15,219	15,121	14,397
	6年産	19,075	22,199	22,375	22,375	19,921	22,548	23,455	23,352	26,201	27,760	25,646	26,705
	7年産	34,792	35,407	35,932	33,626	33,550	33,762	32,831	34,149	32,545	27,540	30,357	-
全国全銘柄 平均	5年産	15,291	15,181	15,240	15,390	15,358	15,303	15,428	15,526	15,597	15,865	15,626	16,133
	6年産	22,700	23,820	23,961	24,665	25,927	26,485	25,876	27,102	27,649	27,613	26,918	27,179
	7年産	36,895	37,058	36,493	36,075	35,465	35,056	33,345	33,447	33,164	31,305	32,486	-

資料 農林水産省 相対取引価格・数量(速報)から抜粋

注1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体(年間の玄米仕入数量が5,000トン以上)、出荷業者(年間の直接販売数量が5,000トン以上)

注2 産地品種銘柄ごとの価格は、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格(運賃、包装代、消費税を含む1等米の価格)を加重平均したもの

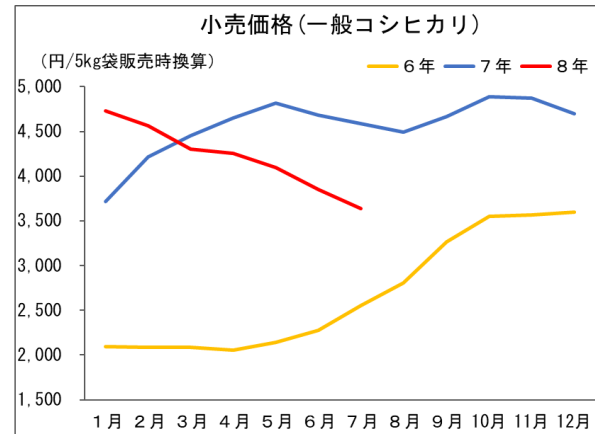
注3 「-」は、当該月の相対取引契約がなかったもの又は当該月の相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表を行わないもの。

小売価格(POSデータ)

(1)一般コシヒカリ

7月の一般コシヒカリの小売価格は、
3,641 円 (5kg 袋販売時換算、税込)と
なった。

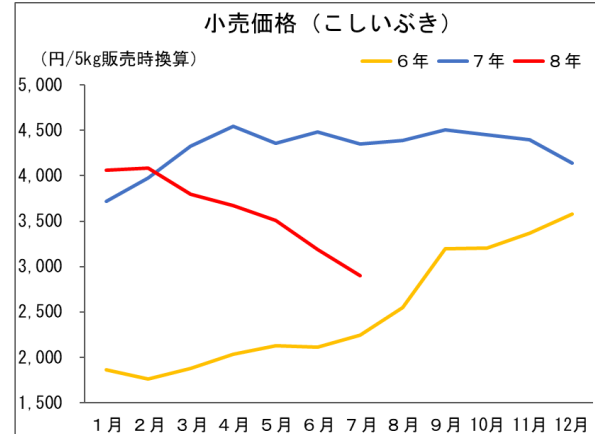
(前月差▲208 円、前年同月差▲947 円)



(2)こしいぶき

7月のこしいぶきの小売価格は、2,897 円
(5kg 袋販売時換算、税込)となった。

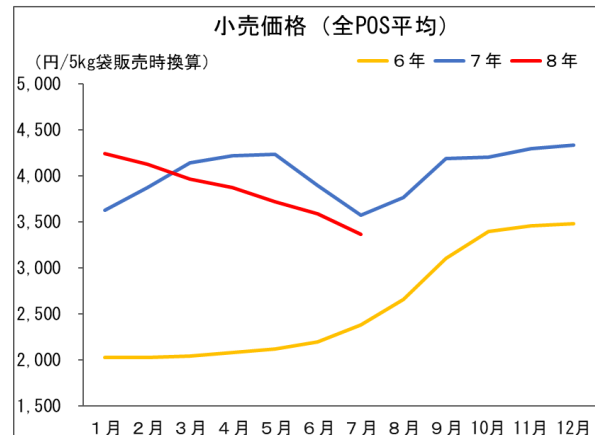
(前月差▲288 円、前年同月差▲1,455 円)



<参考>全 POS 平均(全国)

7月の全 POS 取引平均の小売価格は、
3,370 円 (5kg 袋販売時換算、税込)と
なった。

(前月差▲219 円、前年同月差▲205 円)



【小売価格(POS データ)の推移】

(単位: 円/5kg 袋販売時換算・消費税込み)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
一般 コシヒカリ	6年	2,093	2,085	2,087	2,054	2,144	2,279	2,551	2,806	3,266	3,550	3,569	3,595
	7年	3,721	4,216	4,450	4,648	4,817	4,683	4,588	4,490	4,669	4,886	4,874	4,702
	8年	4,732	4,565	4,301	4,257	4,094	3,849	3,641					
魚沼 コシヒカリ	6年	2,582	2,667	2,727	2,653	2,644	2,756	2,885	3,095	3,422	3,915	3,779	3,941
	7年	4,084	4,392	4,613	4,844	4,898	4,620	4,472	4,728	4,880	5,094	5,139	5,112
	8年	5,114	5,076	4,964	4,831	4,767	4,482	4,241					
佐渡 コシヒカリ	6年	2,232	2,234	2,164	2,224	2,270	2,344	2,501	2,872	2,840	3,568	3,627	3,784
	7年	4,193	4,461	4,498	4,633	4,922	4,700	3,988	4,705	4,729	4,771	4,982	4,833
	8年	4,832	4,602	4,438	4,405	4,422	4,290	3,993					
こしいぶき	6年	1,867	1,759	1,880	2,032	2,130	2,112	2,244	2,549	3,200	3,202	3,370	3,580
	7年	3,717	3,975	4,324	4,545	4,359	4,481	4,352	4,388	4,508	4,453	4,399	4,141
	8年	4,061	4,087	3,793	3,673	3,512	3,185	2,897					
全 POS 取引 平均価格 (全国)	6年	2,030	2,029	2,042	2,083	2,122	2,201	2,383	2,656	3,105	3,395	3,460	3,485
	7年	3,628	3,878	4,145	4,225	4,238	3,895	3,575	3,764	4,189	4,209	4,300	4,337
	8年	4,248	4,131	3,969	3,875	3,719	3,589	3,370					

資料 農林水産省 米に関するマンスリーレポートから抜粋

編集後記 ～田んぼの守り神・かかしの変化～

こんにちは！採用1年目のSです。

稲穂が実り、田んぼ一面が黄金色に染まる時期になりましたね。

少しずつ風も涼しくなり始め、秋の訪れを感じます 🍂

田んぼの秋の風物詩といえば「かかし」。

私は実際に見たことがなかったのですが、先日、山あいの田んぼを通りかかった際に発見しました！！

かかしと聞くと、私は「へのへのもへじ」の顔をした人の形を思い浮かべていましたが、

昔は人の形ではなく、獣の皮や魚を焼いた煙やにおいで鳥獣を追い払っていたそうで、

「嗅がし」と呼ばれていたようです。

その後、人の形へと変化し、今では各地で「かかしコンクール」が開催されるなど、

地域を盛り上げる存在にもなっています。越後妻有の大地の芸術祭でも、

かかしをモチーフにした作品が展示されたことがあるそうですよ ✨

田んぼを守る知恵から、地域を盛り上げる文化やアートへ…

かかしの変化がとても興味深いです！



発行元：新潟県農林水産部農産園芸課

TEL：025-280-5295

URL：<https://www.niigatamai.info>